

向東だより

京都市立向島東中学校
令和6年3月



平素は本校教育活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。
さて、先日保護者の皆様にご協力をお願いしておりました『【後期】学校評価アンケート』にご回答いただき、本当にありがとうございました。

【学習面】

今年度は、公開授業週間や教育視察、研究発表など、授業公開する機会を多く設定することができました。その中で、教科を混ぜた授業改善チームの取組により、授業力を高めることができました。この成果により、日頃の校内の授業の様子において、協働しながら学びあい、自ら学びに向かおうとする生徒の姿が多く見られました。【授業の中で満足感や達成感が持てているか】の項目で、生徒の肯定評価78%、教職員の肯定評価74.2%の結果からもわかります。確プロの結果においても経年変化を見ると、3学年ともに上昇傾向となっています。

【授業や教科書の内容が理解できていますか】の項目での、生徒の肯定評価83.7%とも相関しています。また、【普段、家庭では自分で計画を立てて勉強していますか】の項目において、生徒の肯定評価が50.4%と初めて半数を超えるました。自学自習教室での、大学生ボランティアによる学習支援を充実させたことの影響も大きいと思います。
引き続き子どもたちが主体的に学習に向き合える環境を整えていきたいと思います。



【生活面】

24時以降に就寝する生徒は30.1%（前期比3ポイント増）と非常に多い現状です。学年が上がるにつれてその傾向は強く3年生では44.7%の生徒が24時以降に就寝しています。進路決定を控え、学習時間の増加も考えられますが、スマホの使用時間との因果関係も十分に考えられます。ネットの平日の使用時間が2時間以上と答えた生徒は77%を占め、健康面への影響を考え、子どもたちと話し合ったうえで使用の約束を決めていくことが大切です。



【学校独自の取り組み】

今期は研究発表会をはじめ外部からの学校視察が多くありました。生徒も教師も日ごろの学びに向き合う姿勢を外部に発信できたことは大きな自信につながったと思います。そのことは【向島東中学校を誇りに思いますか】の項目での生徒肯定評価82.1%（前期比5.4ポイント増）から見て明らかです。また授業改革を軸とした学校改革も【授業では課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができますか】の項目での肯定評価78.1%（同11.5ポイント増）の結果から生徒たちの前向きな姿勢が読み取れます。最後に本校学校教育目標『未来の世界を、たくましく生き抜く学び手の育成』の指標の一つとして考えられる【中学生になってから、難しい事でも失敗を恐れずに挑戦していきたいですか】の項目での肯定評価が76.5%（同5.1ポイント増）でした。現在の取り組みが一歩ずつ前進していることを実感すると同時に、さらに生徒たちの意欲が向上していくことを望みます。



今回保護者の皆様より回答いただきました結果（自由記述欄に記載いただいたものを含む）に加え、生徒対象・教職員対象のアンケート結果を教職員一同で共有し、今後の取組を見直すとともに後期に向けて、よりよい教育活動の進め方を探っていきたいと考えています。